

アイデア対決
全国高等専門学校
ロボットコンテスト2009
全国大会

第17号

平成21年12月10日発行

祝 アイデア賞・特別賞受賞!!

平成21年11月22日(日)両国国技館において開催されました全国大会において
本校Spica (スピカ) が、アイデア賞及び特別賞(本田技研工業株式会社)を受賞しました。

あから

岐阜工業高等専門学校 教育後援会通信

編集：教育後援会事務局

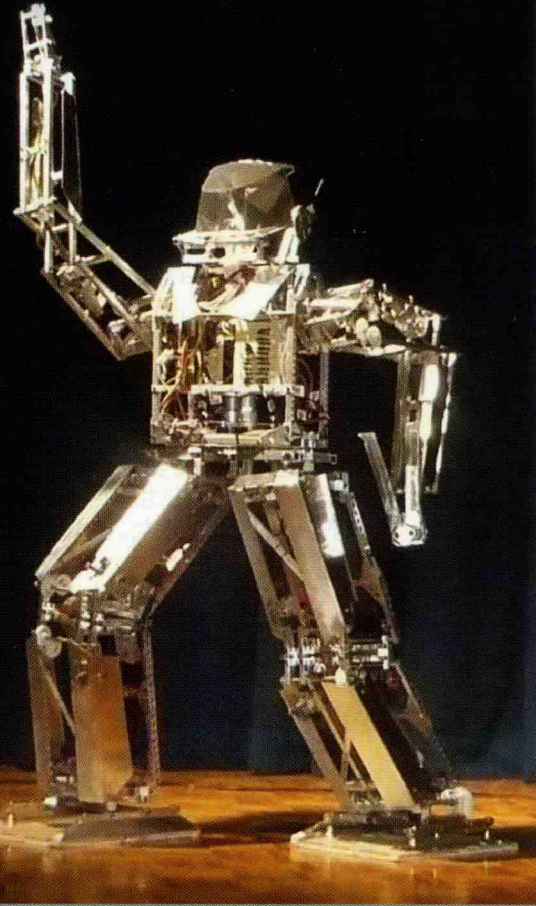


この模様は、下記日時・チャンネルで放映されます。

全国大会放送日時：平成21年12月28日(月)

午後10時00分～11時13分

チャンネル：NHK総合テレビ



私が見る高専生に思うこと



教育後援会 副会長

近藤 富士雄

今年も年末となり、恒例の重大ニュースがマスコミに躍ることでしょうが、ランキングの上位に民主党への政権交代が取り上げられるのではないのでしょうか。

今回の政権交代は、将来の産業界を担う高専生にとってどのような影響が出てくるのでしょうか。経済政策による不況・デフレの動向、高等教育・科学技術予算の見直しによる学校や研究分野への影響などは、注視されることです。

さて、私が見る高専生・・・15歳で高専の門をくぐる彼らは個性的に見えます。私服で登校し、16歳で将来に結びつく専門に学び、寮での自活やアルバイト、部活では5歳の幅の異年齢コミュニケーションに迫られる等々というのは、以外に自分個人としての全面的な力が試されるのではないかと思います。この点では、高専生は、「私(わたし) あるいは個」というものが比較的強く、高専生活の中でさらに強くなっていくのではないかとさえ思えます。

集団の中の個は、折り合いをつけるのは難しいところがありますが、まず個があつての集団であり、個の考えがあつて集団の考えになることを思うと、個なるものの意味や力は改めて評価すべきものと考えます。

こう考えてくると、高専での5年間は、「私はどう考え、どう行動するのか」を自分で決める「個としての生きる力」の本格的な芽生えと育ちのフィールドに見えてきます。将来の産業界を担う高専生にとってこの力は、彼らの仕事の中身となり、同時に日本の産業の方向性にも成り得る大切な力なのではないでしょうか。



イギリスでのインターンシップ実習

電子システム工学専攻 1 学年 木村 俊貴

夏休みのインターンシップ実習として、私たちはイギリスの北部のダラムという町にあるTYK Limitedで研修をさせていただきました。

ダラム工場では、4人の日本人スタッフと現地の英国人スタッフと共に働かせてもらいました。現地の英国人たちは、気さくに話しかけてくれてとても良い雰囲気の中、工場での実習を行うことができました。工場での仕事は、非常に特殊な耐火物の製造で体力を使う仕事でしたが、現地スタッフの穏やかなペースに合わせて効率のよい仕事を行うことができました。

海外での実習ということで、日本とは異なった環境で仕事をするのがとても良い経験になりました。3週間の実習を通して実際に現場で働くことで、仕事をするものの意義や社会への貢献という面において肌で実感することができました。工場内の会話はすべて英語で、自分の英語能力では足りない部分もありましたが、ボディランゲージなどでカバーしながら楽しく仕事をさせていただきました。

研修後には、1週間イギリス国内を旅行しました。マンチェスター、リヴァプールといった主要都市とロンドン市内を観光してきました。どの街へいっても、昔の建物が残っており趣のある町並みはとてもきれいでした。ロンドンでは、バッキンガム宮殿、大英博物館、グリニッジ天文台など有名な観光地をまわりました。イギリスでは、食事、習慣、気候など体感するものすべてにおいて、イギリスの文化と日本の文化との違いに戸惑いましたがとても貴重な体験をすることができました。

最後に、今の時期に海外実習というとても重なる経験をする事ができたことを、協力して下さったすべての方に感謝したいと思います。



工場長 デイビーと



オールド・トラッフォードにて



イギリスでの実習を通して

電子システム工学専攻1学年 菅 沼 正 寛

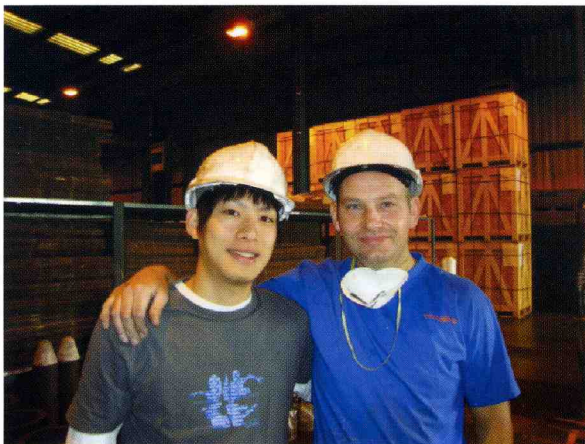
2009年夏、海外インターンシップとして、イギリス北部にあるダラムという町にある、耐火物の製造を主に行っているTYK Limitedにて研修をさせていただきました。私にとっては初めての海外滞在であったため、セントレアを発って日本を離れると、まったく異なる言語と文化の中で生活することに不安と戸惑いを隠せませんでした。しかし、いざイギリスへ到着すると、これから始まるであろう日本ではすることのできない経験に、期待と好奇心で自然と胸が躍っていました。

研修先の工場には、4名の日本人スタッフの方がいらしたのですが、それ以外の40名程ほどのワーカーは全て現地の方々で、作業中コミュニケーションをとるのはほとんどが英語でした。作業内容は、日本人の私には少々きつい力仕事为主でしたが、いつでも陽気で面白い彼らが私を気遣ってくれ、作業の指示をわかりやすく丁寧にしてくれて、とても楽しく作業を行うことができました。また、完全に言葉が通じているわけではないけれど、休憩時間等にするたわいもない会話や、ジョークを言いあって笑いあえたりできたことに感動し、日本で机に向かって勉強していただけた知識とは比べものにならないくらいの英語力を吸収することができたと思います。

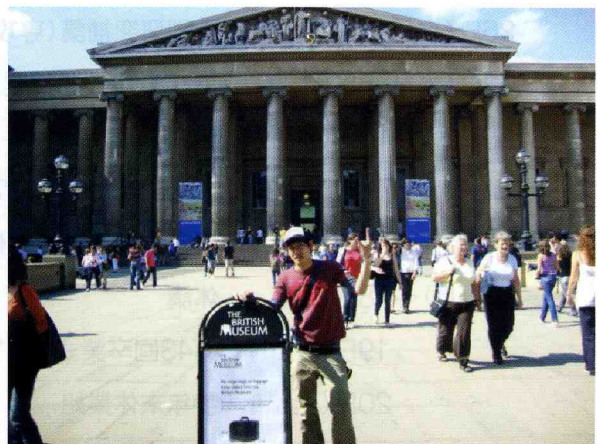
研修後は、国内の各地を回って、観光を楽しみました。イギリスの風景、気候、人柄、食べ物等、どこへ行っても見るもの触れるもの感じるもの、すべてが新鮮で衝撃的なものばかりで、日々驚きの連続でした。

今回、イギリスでの1カ月の滞在の中で、日本の企業とはまた一味違った外国の職場の雰囲気を感じることができたと共に、まだ学生でありながら海外で生活できたことで様々な貴重な経験をすることができ、今後の人生に対して大きな飛躍を遂げることができたと思います。

最後に、このような機会を設けて下さり、支援して下さいた関係者の方々には本当に感謝しています。ありがとうございました。



工場長 グリンと



大英博物館の前にて

行事予定

◆教育後援会行事予定

- 4月18日(日) 教育後援会役員会 10時30分～13時(平成21年度役員)
5月 9日(日) 教育後援会総会 13時30分～15時

◆主な学校行事予定

- 1月4日(月)～9日(土) 第44回全国高専体育大会(ラグビーフットボール:神戸市立)
4日(月) 冬季休業終 開寮13:00
5日(火)～6日(水) 冬季授業補填期間 授業補填時間帯Ⅰ～Ⅳ限
7日(木) 開講、第1～3学年:補講・補習、第4・5学年:平常授業 寮生成人祝賀会
8日(金) 第1～3学年:補講・補習、第4・5学年:平常授業
13日(水) 国立高等専門学校学習到達度試験(第3学年:数学、物理、午後平常授業)
14日(木) 月曜日の時間割で授業実施
16日(土) 寮生スキー研修
16日(土)～17日(日) 全国高専英語プレゼンテーションコンテスト(東京)
17日(日) 第43回吹奏楽部定期演奏会(羽島文化センター)
22日(金) TOEIC試験13:00(第3学年及び希望者)午前:補講、午後:休講
2月4日(木)～10日(水) 後期期末試験(第5学年)
12日(金)～17日(水) 後期期末試験(専攻科)
15日(月) 第1～4学年:補講・補習、第5学年:平常授業
16日(火) 第1～3学年:補講・補習、第4・5学年:平常授業
17日(水) 第1・2学年:補講・補習、第3～5学年:平常授業
18日(木)～23日(火) フォローアップ授業・補講・補習期間(専攻科)
19日(木) 補講(第5学年)
19日(金)～3月1日(月) 後期期末試験(第1～4学年)
22日(月) 休講
26日(金)～3日(水) 特別研究補講(専攻科)
3月2日(火)～5日(金) フォローアップ授業・補講・補習期間(第1～4学年)
4日(木)～18日(木) 休講(専攻科)
6日(土) 寮生部屋替 閉寮17:00
6日(土)～8日(月) 寮生会役員合宿研修(乗鞍)
8日(月)～18日(木) 休講
19日(金) 第43回卒業式(第1～4学年休講)、第14回修了式、(専攻科1年次休講)閉講
20日(土) 学年末休業始
31日(水) 学年末休業終、後期終、学年終

保護者見学会に参加して

第5学年 保護者

6月19日(金)朝から良い天気恵まれ、バスは中部国際空港セントレアへ向けて、出発しました。私は今年で3回目の参加で、今回はセントレアということで特に楽しみにしていました。

厳重なセキュリティエリアの滑走路の見学で、普通では絶対に見ることができない場所でした。飛行機の離着陸の様子や消防施設、荷物倉庫、機内食製造エリアなど空港職員の方の詳しい説明を聞きながら、本当に興味深く楽しいひとときでした。デッキから見るのとは違った景色でも良かったです。

空港を後にして吉良温泉へ移動し、昼食会でも親さん方と情報交換で盛り上がり、楽しく過ごさせて頂きました。

えびせん共和国などでお土産も買い、大満足の1日でした。

バスの中での、各科の先生方のお話から学校の様子もわかり、高専ならではの企画に参加して、本当に有意義な1日でした。見学会を企画して下さいました皆様に厚くお礼申し上げます。有難うございました。



平成21年度地区保護者懇談会を終えて

寮務主事 清水 晃

今年度の地区保護者懇談会は、11月7日(土)、8日(日)、14日(土)、15日(日)の4日間に、例年通り、飛騨、愛知県、美濃・可茂、岐阜、東濃、滋賀県、西濃の7地区で開催され、休日にもかかわらず計278名の保護者にお越しいただきました。

分科会では数々の貴重なご意見をご提示いただきましたが、それらは関係部署で検討し、今後の学校運営に反映させることとします。

開催にご尽力いただいた教育後援会役員の皆様、ご来場くださった保護者の皆様、誠に有難うございました。



わが子にむけて

地区委員 保護者

早いもので、子供が入学してから3年の月日がたとうとしています。

高専を進学する事を希望しているとわが子から聞き、普通科とは違い専門的な学習するイメージがあったので不安に思いましたが、入学するとすぐにそのイメージは変わり、先生方やクラスメート、部活の先輩達に支えられながら好きな勉強が思いっきりでき、充実した日々を送っています。

やはり受験校とは違い、おおらかで自由な校風が大変すばらしいと思います。

少し親として心配に思っている事は、考え方がかたよった小さな人間になって欲しくない事です。その為に、いろいろな世界を経験し、広い視野を持った大人になって欲しいと思っています。

あと2年で卒業で、高専で学び、どんな大人に成長していくかととても楽しみにしています。

第45回高専祭

2009年10月24・25日

10月24・25日、テーマ「絶頂」を掲げ、第45回の高専祭が開催されました。

天候に恵まれ、多くの来場者がありました。

各学科4年生が専門知識を活かした展示を行う専門展、本年度は校長賞に電気情報工学科と建築学科、来場者審査賞に建築学科が選ばれました。

学生主事補佐 小栗



機械工学科

高専祭各学科専門店

教育後援会も援助しています。



電気情報工学科



電子制御工学科



環境都市工学科



建築学科



フリーマーケット

編集後記

今年も残り少なくなり、何かとあわただしい頃になりました。

11月22日開催されました高専ロボコン2009全国大会出場に伴い、公益財団法人十六地域振興財団、大垣共立銀行北方支店、西濃信用金庫糸貫支店、JAぎふ糸貫支店及び数名の保護者の方から過分なる寄附をいただき、誠にありがとうございました。この寄附金は、応援バス借り上げの援助として使わせていただきました。

また、第17号発刊にあたり、副会長の近藤様を始め、保護者の方々及び海外インターンシップ参加の専攻科生から寄稿をいただきありがとうございました。

今後とも後援会活動にご支援をお願いします。

事務局長 遠山基